

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	感染症予防対策			事業番号	011-229
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	感染症対策 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 11 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人・物、対象数)	全堺市民 826,447人 (R2年10月1日国勢調査結果速報値より)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	様々な感染症に対し、その感染力や健康被害への影響を勘案し、疫学調査、入院措置及び就業制限等を行うことで市民の健康を守るとともに、感染の拡大を防止する。また、保育所、学校及び老人福祉施設等に対して、感染症予防の指導啓発等を行うことにより、施設内の集団感染を防止し、子どもや高齢者の健康維持を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・1～5類等の感染症が発生した場合、必要に応じ患者への疫学調査、入院措置、就業制限、接触者の健康観察等を行うことで感染拡大を防止する。 ・ウイルス性肝炎の早期発見のため、各保健センター及び協力医療機関において肝炎ウイルス検査を実施するとともに、陽性者を早期治療につなげるためのフォローアップ事業を実施する。 ・市民および市内集団施設に対し、感染症予防のための知識の普及及び指導を行う。 ・性感染症について、各保健センターや保健所（サンスクエア堺）での検査及び啓発事業を実施する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人 堺市医師会ほか
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
	1、2、3類感染症、麻しん及び風しんの集団発生件数	件		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
			目標値	0	0	0	0	
			実績値	0	0			
達成率	100%	100%						
	当該指標を選定した理由	疫学調査で感染拡大を防止することのできる感染症の集団発生件数を指標とすることにより、事業目的の達成状況を把握するため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	疫学調査により感染拡大を防止することが事業目的であるため。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
	疫学調査実施率	%		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			目標値	100	100	100		
			実績値	100	100			
達成率	100%	100%						
	当該指標を選定した理由	疫学調査を実施することで感染症の感染拡大を防止することができるため。 ※令和2年度疫学調査実施件数：14件						
	目標値の設定根拠・算出方法	感染拡大を防止するためには、対象となる感染症の全ての症例について疫学調査を実施することが必要であるため。						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	感染症予防対策	事業番号	011-229
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	42,652	56,071	45,302	1,382,357	884,690
13 財源内訳	国支出金	26,426	31,816	27,949	1,072,425
	府支出金				69,948
	市債				
	その他 (医療物資寄付金)				31,709
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	16,226	24,255	17,353	208,275	479,587
14 人件費 (b)	8,200	8,100	8,200	8,200	8,200
15 年間経費(c)=(a)+(b)	50,852	64,171	53,502	1,390,557	892,890

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R2
16 事業費内訳	肝炎ウイルス検査委託料	R2	決算 36,422	12,141	感染症対策消耗品費	R2	決算 133	133
		R3	予算 40,948	14,353		R3	予算 501	501
	検査手数料	R2	決算 1,146	573	感染症審査協議会委員報酬	R2	決算 40	40
		R3	予算 1,848	924		R3	予算 23	23
	医療機関等資料郵送料	R2	決算 2,203	1,102	ハンセン病講演会実行委員負担金	R2	決算 50	50
		R3	予算 187	187		R3	予算 50	50
	会計年度任用職員雇用経費	R2	決算 3,943	1,757	コロナ対策経費	R2	決算 1,337,688	192,017
		R3	予算 87	87		R3	予算 840,332	462,748
	研修会・会議等参加旅費	R2	決算 551	281	その他(使用料及び賃借料、負担金等)	R2	決算 181	181
		R3	予算 275	275		R3	予算 439	439

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 肝炎ウイルス検査受検者数	人	6,302	5,484
② 上記①にかかる年間経費	千円	39,765	36,422
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	6,310	6,642
備考 (算出についての説明等)	②は肝炎ウイルス検査委託料		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>性感染症の対策については、関連性の深いHIV／エイズと同時に啓発を行うことで、啓発の効果を高めるだけでなく費用面でも効率的に実施することができた。</p> <p>また、肝炎ウイルス検査の委託料に関して、健診と同時に実施する場合（採血にかかる費用や診察料の積算が安価になる）などの安価な単価を設定していることで、効率的に検査を実施することができている。</p> <p>※単価当たり経費の増については、診療報酬の改定による所要増があったことによるもの。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>疫学調査の必要な感染症に対して確実に調査を実施することは、感染症対策において極めて重要なことである。令和2年度においても調査実施率を100%に保ち、接触者の健診や就業制限等の措置を適切に講じたことで、感染拡大を未然に防ぐことができた。</p> <p>ウイルス性肝炎については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による検査休止期間などがありながらも一定の受検機会を確保したことにより、受検者数の大幅な減少を防いだ。また陽性判明後のフォローアップにより、ほとんどの患者を適切に医療につなぐことができた。</p>
----	--